

■施工手順



1. 下地状態の確認

①下地内部まで弱い場合は、床材施工を避けるか、下地を強固に作りかえる。



2. 清掃

①モルタル、コンクリートの突起物をスクレイパー等で削る。
②湿润ノコ屑を撒き散らし、箒で掃き取ってモルタルかすなどを取り除く。



3. パテ

①「アースシール速硬」等で下地の亀裂、凹部などを埋め、下地を平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。
②下地にコテムラなど全体的に不陸がある場合は、「アースコート60」で下地全面を平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。

4. 床材の張り付け

①ウレタン系接着剤「プラゾールUF-ライト」を下地に塗布し、所定のオープンタイムをとる。
②床材を張り付け、圧着可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。
③床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は雨等の影響が無いように養生する。

■使用商品（施工m²数）



●アースシール速硬

商品番号	荷姿	施工m ² 数の目安
293-101	5kg(x4)	5m ² /5kg (1mm厚)



●アースコート60

商品番号	荷姿	施工m ² 数の目安
293-801	4.5kg(x4)	5m ² /4.5kg (1mm厚)



●プラゾールUF-ライト

商品番号	荷姿	施工m ² 数の目安
286-383	16kg	43m ² /16kg

※川上アルテビト致数量規格

F★★★★

※備考

- (1) 10℃以下の低温時の施工は避けてください。
- (2) 床材及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (3) 施工に先立ち、巻癖、伸縮を取り除くため、仮敷きを行ってください。
- (4) 施工後、急激な温度変化が生じると、床材が伸縮し、目透きや剥がれが発生しやすいのでご注意ください。また、接着剤の硬化前に雨などの水分の影響を受けると、接着剤が本来の接着性能を発揮できませんので、1週間程度は雨等を避けて養生してください。
- (5) 人工芝裏面の凹凸の状態により、接着剤の塗布量を調節してください。人工芝の裏面が平滑な場合は通常のクシ目ゴテを、裏面の凹凸が大きい場合は、人工芝・木質床材用クシ目ゴテの使用をお勧めします。

■注意事項

- ①乾燥モルタル以外の下地へ施工の場合は、別途各下地別施工要項をご参照ください。また、防水塗装や防水シートなど露出防水層上へ施工の場合は、必ず施工前に施工責任者と協議を行ってください。
- ②「プラゾールUF-ライト」を使用する際は、火気・換気に十分注意してください。
- ③床材の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工して確認された上で本施工を行ってください。
- ④床用パテ「アースシールシリーズ」は、下地を平滑にすることを目的としており、下地の動きを固定するものではありません。従って極端に動きが生じた場合クラック等が発生する事がありますので、ご注意ください。
- ⑤使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。